



南九州市名誉市民 赤崎勇氏 功績碑の除幕式

4月16日、南九州市役所知覧庁舎で南九州市名誉市民である赤崎勇氏の功績碑除幕式が開催され、長女の三輪玲子さん、次女の赤崎順子さんをはじめ関係者約70人が参加しました。

赤崎勇氏が研究を行っていた発光ダイオードのうち、青色発光ダイオードの開発は難航し、20世紀中の実現は困難と言われておりましたが、「我ひとり荒野を行く」との信念で粘り強く研究を続け、青色発光ダイオードを世界で初めて開発されました。

これらの研究の成果により、平成26年10月にノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇氏は、令和3年4月に92歳で天寿を全うされました。南九州市では、この功績をたたえ功績碑を建立しました。

親族を代表して三輪玲子さんが、「父は自然豊かな知覧町で育ち、小さな石を採取することが好きで、『何故こんな形や色をしているのだろう』との好奇心が、化学者・研究者としての素養を育んでくれたと思っています」と幼少期のエピソードをあいさつの中で披露してくださいました。

赤崎勇氏は存命中、若い世代に対し「本当に好きなことなら、どんな困難でも続けられる。自分の可能性を信じて進んでほしい」との言葉を遺されております。



南九州市役所正面玄関前駐車場に建立してあります

～川辺分遣所落成式～

消防活動拠点施設運用開始



3月29日、川辺分遣所で落成式が開催されました。川辺分遣所旧庁舎は、昭和49年に建設され、築47年以上が経過し、建物本体をはじめ、衛生・空調・電気施設などの老朽化が進んでいました。大規模災害時の消防活動拠点施設としての役割を果たすために、早急に改善を図りました。今回、旧庁舎南側に鉄筋コンクリート造2階建ての新庁舎が完成し、運用が開始されました。

～知覧特攻基地戦没者慰霊祭～

平和への願いを込めて

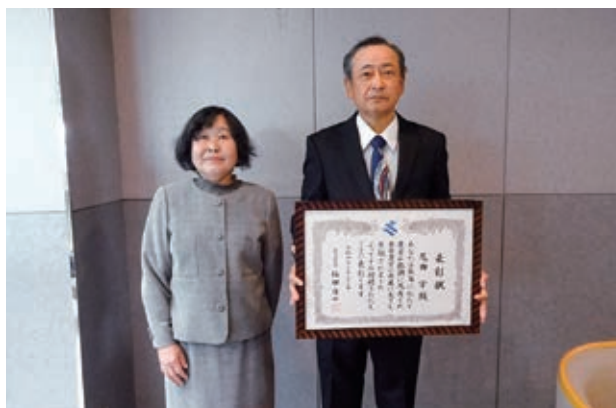


5月3日、知覧特攻基地戦没者慰霊祭が知覧特攻平和観音堂において行われ、全国各地の遺族らをはじめ約200人が参加し、戦没者の冥福と恒久平和を祈りました。遺族を代表して、埼玉県渡邊茂さんが、若くして大空に特攻散華された兄について語り、「私たち遺族は特攻勇士の尊い犠牲のあったことを忘れることなく、今後も引き続いて御霊らの慰霊顕彰を続けるとともに、命の尊さを語り継いでいくことを誓います」と慰霊の言葉をささげました。



～尾曲幸さん(顓娃地域)～

鹿児島県農業功労者表彰



3月22日、県庁にて令和3年度鹿児島県農業功労者の表彰式が開催され、南九州市からは、尾曲幸さんが受賞しました。

尾曲さんは、JAえいさつまいも専門部会長やかごしまブランドマスターとして活躍するとともに、消費者との交流や部会で生産するさつまいもの商標登録を積極的に進めるなど、顓娃町のさつまいもの認知向上に尽力されました。

これからも若手育成指導や地域農業者のけん引役として貢献いただけることを期待します。

～井上洋一さん(顓娃地域)～

88歳高齢者叙勲 瑞宝双光章受章



4月12日、顓娃町在住の元校長、井上洋一さんが瑞宝双光章を内閣総理大臣から授与され、教育長が伝達しました。この叙勲は長年にわたる教育への功績が特に顕著であった方が、満88歳に併せて政府の閣議で決定され受賞されるものです。井上さんは、昭和32年から平成6年3月に旧肝属郡吾平町立下名小学校校長を定年退職されるまでの間、地域に貢献する多くの人材を育成し、学校教育の発展のため尽力されました。今回その功績が認められたものです。

～知覧育成園を避難所指定～

社会福祉法人敬和会と災害協定



4月27日、社会福祉法人敬和会との災害協定締結式が行われました。

この協定は、手蓑地区の避難所が手薄になることに伴い、災害発生時に施設を避難所として使用するものです。理事長の松久保和俊さんから地域貢献の立場から、施設使用に対して快く引き受けていただきました。この協定により手蓑地区の避難所数を維持することになりました。

～南薩地域植樹祭表彰式～

受賞おめでとうございます！



3月28日、南薩地域植樹祭表彰式が開催されました。1月29日開催予定の植樹祭が中止になったため、表彰式のみを行い、南薩地域の森林・林業功労者として宮崎トミ枝さん、遠見義隆さん、植樹祭テーマ公募入賞者として最優秀賞 豎山陽香さん(高田小学校)、優秀賞 塗木舞桜さん(浮辺小学校)、鎌田花凜さん(顓娃中学校)、前迫幸憲さん(川辺中学校)が受賞されました。今回のテーマ「育てようゆたかな森を 見てみようゆたかな未来を」を心掛けて、未来にゆたかな森林を残しましょう。



～有限会社 永照電気より～

感染症予防対策用品を寄贈



4月4日、有限会社永照電気から感染症予防対策用品として空気清浄機3台と二酸化炭素濃度測定器2台が寄贈されました。

代表取締役の河野洋一郎さんは、「今回コロナ対応している保健センターに贈ることができよかった」と寄贈への思いを話しました。

いただいた感染対策用品は3地域の保健センターに設置します。また、4月19日に同社から南九州消防署へ空気清浄機3台が寄贈されました。この空気清浄機は3地域で活用しています。

～花の消費拡大PR活動～

「ゴールデンウィーク・母の日フェア」



4月27日～5月10日の期間、本市産の切り花のPRを目的として、道の駅川辺やすらぎの郷にてフラワーアレンジメントの展示が行われました。市内花き生産者から提供されたカーネーションやスターチスを用いたフラワーアレンジメントが、ロビーで来場者を歓迎しました。

また5月8日の「母の日」に向け、市花き振興会会員が市内で生産したカーネーションなどの花々が販売され、好評でした。

～松清五男さん(知覧地域)～

郷土愛を込めた著作物の寄贈と寄付



4月5日、知覧町在住の松清五男氏より南九州市へ、氏著作の図書の寄贈と50万円の寄付がありました。

松清氏は「知覧町には戦前、郷土愛に満ちた文芸があり、近年は絶えて久しくなることから、郷土愛を込めた著作をぜひ読んでいただきたい」との思いで図書を寄贈されました。

また、南九州市のさまざまな行政施策に役立てて欲しいと寄付してくださいました。

～食と農を通じて地域から新たな働き方を生み出す場～

TANOKAMI STATION(タノカミステーション)がオープン



4月6日、川辺町平山の旧川辺中学校校舎をリノベーションし、レストランやワークスペースなどの機能を持った複合施設「TANOKAMI STATION」がオープンしました。

この施設は市内外のメンバーで運営されており、ヒト・モノの新たな対流を発生させて食、観光および企業誘致などのさまざまな側面から地域活性化に繋げていくことを目的としており、地域住民に長く愛される施設となることが期待されています。



～南九州市金融機関防犯協議会・南九州地区防犯協会～ 非常事態に備え防犯ブザーを贈呈



4月6日、南九州市金融機関防犯協議会と南九州地区防犯協会が合同で市内の小学1年生260人に防犯ブザーを贈呈しました。これは、平成20年から行っている取り組みで、今年で16回目です。

管内では、昨年も登下校時の児童へ不審者による声かけ事案が発生しています。

家庭においては、子どもと一緒に通学路を歩き危険箇所の点検や「子ども110番の家」の確認を行い、子どもに防犯ブザーなどの防犯用品を携行させましょう。

～交通安全運動・街頭キャンペーン～ 安全運転をお願いします！



春の全国交通安全運動期間中の4月6日、南九州警察署前の交差点で交通安全運動・街頭キャンペーンが開催され、関係者約100人が参加しました。

参加者は旗を持ち、安全運転をお願いしますという掛け声とともに、交通安全啓発グッズを配布しました。

期間中、市内では17件の交通事故が発生しました。交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

～薩摩鶏心会のおいしい鶏卵・鶏肉をPR～ 自慢の一品で新しい先生方をおもてなし！



4月8日、知覧文化会館で転入教職員の服務宣誓式が行われ、養鶏農家の後継者で構成される薩摩鶏心会が鶏卵と鶏肉の炭火焼を贈呈しました。

昨年はコロナ禍の影響で服務宣誓式がリモート開催となり、直接配付することができませんでしたが、今年は一人一人に手渡しすることができました。

転入教職員の皆さんには、本市自慢の鶏卵・鶏肉をたくさん食べていただき、コロナに負けずさらなる活躍を期待しています。

～薩南工業高校生活学科～ 知覧図書館へソファーカーバーの寄贈



3月24日、薩南工業高校の生活学科の学生から手作りのソファーカーバーが寄贈されました。

図書館のソファの寸法を測り、型紙から作成。高校で学んだ技術を生かし、地域へ還元したいと授業の合間を縫って少しずつ完成させたそうです。

贈られたソファーカーバーは、知覧図書館内で活用されています。